

# 北九州市議会議員 市政レポート 大久保むが

# かわら版

第六十三号

## 大久保むが事務所

北九州市八幡西区則松二一六六  
TEL 093-980-6806  
FAX 093-980-6807  
https://www.mugamuga.net/  
E-mail yahatanishi@mugamuga.net



## 謹賀新年



### 本年もよろしく お願いいたします。

新しい年が始まりました。昨年は年初に北九州市議会議員選挙が行われ、皆様のおかげで5期目の当選を果たすことができました。引き続き議会でも働かせてもらうことができ、心より感謝申し上げます。本年も皆様の声を議会へ届ける、その役割を果たしてまいります。

言ってきた1年間でした。私たちの日々の生活と市政は直結しています。市民の暮らしの安全を犠牲にした上での賑やかしゃイベントを優先するかのような市の在り方にはしっかりと物申していかなければなりません。

## 補正予算が決定

### 議案に対し、またも付帯決議

国の補正予算で交付が決まった、総合経済対策に基づく重点支援地方交付金の配分を受けることに伴い、本市では物価高対策として住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり1万円を給付、また食料品の購入などに利用できるプレミアム付き商品券の発行支援に9億円、さらに国費で0歳から18歳までの子ども1人あたり2万円の給付を行う追加補正予算計61億円が計上されました。

私たちが議会側は、この補正予算に対し、物価高に苦しむ市民の方たちへ給付することに對する緊急性は認めつつも、支援を必要とする世帯は住民税非課税世帯だけではないこと、事業費32億円に對し事務経費が7億円にのぼることなどを考慮し、今回支給される交付金の残額である残り32億円の使い道については、より幅広い市民へ届けることを求めました。また、事務経費の軽減につとめ、その分を支援に充当できるように求めるなどを盛り込んだ内容の付帯決議が、自民党無所属の会、市民とともに北九州、共産党、北九州党、みどりの風の賛成により可決されました。

## 令和7年12月定例議会



さらに歩道の除草予算の削減など、市民生活に犠牲を強いる行政運営の在り方にも疑義があり、引き続き市との対話をしつつも、市民と議会からの意見に耳を傾けるよう訴えて参ります。

### 福岡市の市営住宅における医療・介護用駐車場の取り組みについて 視察に行ってきました。

福岡市では市営住宅の空き駐車場を活用して、駐車場シェアリングを行っています。



市営住宅の医療介護駐車場

私が視察に行った11月の時点で、福岡市の市営住宅の17,000台がある駐車場のうち、およそ4,000台が使用されていないという実態があるという。高齢化が進展する中で訪問医療・介護用の駐車場設置のニーズの高まりもあり、その対策が検討されていた、とのことでした。

さて、今回私は12月定例会で医療介護の在宅への訪問時の駐車場について、福岡市型の駐車場シェアリングの導入に向けた検討と、訪問医療・介護事業者の方達が訪問しやすい、また入居者の方たちが訪問での医療・介護を受けやすい環境を整備すべきであると訴え、一般質問を行いました。

がったり下がったりするため、例えば福岡ドーム近くの駐車場シェアリングでは、高いときで1回の駐車料金が1,000円を超えるなど高額になることもあり、訪問医療介護の事業者さんたちが場合によっては使用が制限されることもあったとのことでした。

ました。

北九州市の市営住宅は市内でおおよそ370団地ほど存在しています。この中でコインパーキングが設置されているのがおよそ60団地となりますので、20%に達していません。コインパーキングは民間事業者が設置するもので、採算性が見込めなければ当然設置されることはありません。いつばう今回提案した駐車場シェアリングはAIによる予約制となるので必要に応じて予定を組むことができ、さらに整備にかかる費用はほぼ必要ありません。また駐車区画を貸し出ししているとはいえ、生活困窮世帯などが駐車区画を確保することは難しく、せめてコインパーキングが設置されていない300団地において、AIを活用した駐車場シェアリングサービスを導入し、訪問医療・介護従事者が駐車場確保に困ることのないよう取り組みを要望しました。

まずは早急に整備できる可能性が非常に高い、駐車場シェアリングの導入を市営住宅から行うことで、医療・介護の方々が訪問先での駐車場確保の不安が一部でも解消することができれば、国が目指す地域包括ケアシステムの充実に大きく貢献できると考えます。

引き続きこの問題については議会で取り上げ、実現に向けて議論を続けていく決意です。

折尾四丁目交差点の歩車分離  
今年度中に開始が決定！



福岡県警がホームページにて公表

これまで私は、地元やドライバーの方たちからの声を受け、また朝晩の通勤通学の方たち、自転車、交通量が増大した折尾四丁目交差点を通過する車両を見たときに、歩行者の安全とドライバーが焦ることなく運転できる状態を整えることが必要と考え、議会を通じて折尾駅前「折尾四丁目交差点」の歩車分離化を目指して取り組んできました。

おかげさまで今年度中（令和8年3月まで）にこの交差点の歩車分離化が行われることが福岡県警察から公表されました。

この間、地元の岩元県議会議員からは福岡県へ、若松区の三宅まゆみ市議会議員からは同じく北九州市へ、はまぐち誠

参議院議員からは国会を通じて警察庁などへ働きかけを行っていただきました。私たちの意見を取り入れていただいた福岡県警察、折尾警察署、ならびに北九州市など関係各位のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

この交差点だけでなく、市内の交差点や歩道など、私たちが日々使う「道」の安全性を高めるためこれからも皆様の声を議会へ届けてまいります。



折尾四丁目交差点

刑法犯認知件数の推移から  
北九州市の治安が改善しているのかについて考える。



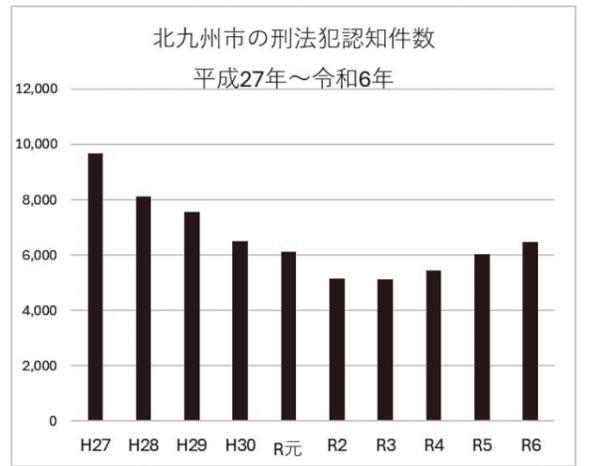
私はこれまで、何度もこの市政レポートを通じて、北九州市の刑法犯認知件数が減少しており、北九州市の治安は改善されている、ということ発信してまいりました。

ただ今回、これまで私自身が考えてきた刑法犯認知件数の減少は治安の改善と単純に言い切ってしまうのはいいのか、ということについて改めて事実と考察をきちんと分けて考えていきたいと思います。

北九州市の刑法犯認知件数ですが、平成14年をピークに下がり続けている、というの事実で、令和3年の新型コロナ禍に最も少ない5,109件で過去最少となった、というの事実の数値です。

さらにコロナ禍が明けて令和6年にかけてこの刑法犯認知件数が急激に増加に転じているという事実もあります。

これは全国的な傾向で北九州市だけが増加しているというわけではないのですが、警察犯認知件数が最も少なかった令和3年が5,109件、そして令和4年5,452件、令和5年は6,044件と6,000件を上回ってしまい、令和6年は6,482件とさらに増加しています。



その主な増加要因は万引きや自転車盗が全体のおよそ4割弱で最も多いとされています。

また知能犯、いわゆる特殊詐欺などはおよそ600件余りと全体の1割となっており、増加しているのか、ということの要因ですが、これは市としての見たてとなりませんが、人流の増加、そしてインバウンドの増加などがその主要因として考えられるということでした。

刑法犯認知件数の増加は治安の悪化なのか？

さて、ここまでではいつもの刑法犯認知件数についての話となりましたが、北九州市の刑法犯認知件数は全国と比較してそんなに多くないでしょ、安全な街なんですよ、ということではあるのですが、ここからはこの刑法犯認知件数に対する見方を変えて考えてみたいと思います。

まず、この刑法犯認知件数のデータの出所は福岡県警察です。市はその資料を参考に刑法犯認知件数の主な増加要因として、万引きと自転車盗があり、これらを減少させなければならぬと考えます。万引きの場合はお店での対応になりますので、これはなかなか難しい、一方自転車の場合は未施錠の窃盗が6割と言われていますので、極端な話、鍵を配るとか、防犯カメラの設置などの駐輪場の対策などが主なものになると考えられます。

しかし、自転車窃盗の目的についての分析が詳しくなされていないので、金属を集める目的なのか、はたまた、他国の人から来た人たちが窃盗をおこなっているのか、または物価高が影響しているのか、失業率などが関係しているのかなど、要因が違えば当然対応が変わってくるでしょうし、逆にその原因が判明し、それを解消したら自転車の窃盗はなくなるのかもしれない。

同じくこの刑法犯認知件数の中に知能犯、いわゆる詐欺の被害も含まれていて、これが市内でおおよそ600件ぐらいあるとのこと。極端な話、これが10,000件被害が出て、北九州市の刑法犯認知件数が1万6,000件に跳ね上がったとなれば、北九州市の治安が悪化したということと捉えられてしまいます。しかしこの詐欺をやっている犯人が関西や関東にいたり、はたまた外国にいたりしたとしたり、単純に北九州市の刑法犯認知件数が多いからといって、北九州市の治安が悪化している、とは単純には言えないのでは、ということになってしまいます。

ですから、この刑法犯認知件数について考えるときに、これまで述べたようなことだけでなく、さらにさまざまな背景や可能性を考えなければいけないと思います。

市議会では警察からの資料に書かれている数字を見て議論しますが、市は警察からの情報で議会側に説明し、議会はその情報を元に議論している以上、どうしても核心に迫ってないところか、伝聞で議論している域を出ないんじゃないかと思えます。

警察案件は福岡県だからということは一線引いてしまっているところもありますが、この件だけでなく、今までのことだったからとかいう固定的な考え方はなくて、別の次元の見方をさらに心がけていかねばならないと考えました。

※刑法犯認知件数とは、警察などの捜査機関が「犯罪が発生した」と認識（認知）した事件の数のことで、被害届や告訴、告発、職務質問などを通じて把握された件数を指します。

北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

平成 6年県立北筑高校卒。  
平成10年九州国際大学商学部卒。  
平成12年から衆議院議員北橋健治氏の秘書に。  
平成18年北九州市立大学法学研究科(大学院)に入学。  
平成20年同大学院を卒業。同時にヘルパー2級を取得。  
平成21年北九州市議会議員選挙に初当選。

平成25年2期目当選。環境水道委員長。  
平成29年3期目当選。経済港湾委員長。  
令和 3年4期目当選。経済港湾委員長。  
令和 7年5期目当選。現在、会派「市民とともに北九州」幹事長。  
国民民主党所属  
積極財政を推進する地方議員連盟九州ブロック代表

北九州市キャンプ協会会長  
NPO法人古典落語を守る会副理事長  
NPO法人KID's Work スタッフ



大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松二丁目6-6  
Tel 093-980-6806 Fax 093-980-6807  
https://www.mugamuga.net/ E-mail yahatanishi@mugamuga.net

ホームページはこちら▶

